

## 第22回（2025年度） 障がい者雇用支援キャンペーン取り組みと結果

公益社団法人 全国求人情報協会（理事長：瀬野尾裕）は、厚生労働省後援のもと、2025年7月1日から2025年9月30日にかけて、障がい者雇用支援キャンペーンを行いました。

### 【キャンペーン趣旨】

2004年に設立20周年事業としてスタートした障がい者雇用支援キャンペーンは、厚生労働省の後援を受け、例年7月～9月に求人者に障がい者の雇用を促すための取組みを行っています。

障がい者の雇用促進は、企業の社会責任を果たすうえで重要なテーマであります。企業で実際に雇用されている障がい者の割合を示す実雇用率は、2024年6月には2.41%と過去最高にのぼった一方、法定雇用率は今後さらに段階的な引き上げが予定されています。

また、改正障害者雇用促進法では、事業主の責務として障がい者の職業能力の開発及び向上も含まれることが明確化されました。

障がい者雇用の情勢は、依然として険しい状況にありますが、求人メディアの社会的影響力と広告効果を発揮し、障がい者の雇用支援に貢献するために活動してきた本キャンペーンは、全求協会員が一致団結し、障がい者雇用を求人企業にご一考していただいたり、無料で求人情報を掲載したりといった活動を続けて、着実に雇用支援につながっています。

### 【キャンペーン概要】

#### （1）障がい者雇用に係る周知・啓発

- ・求人者に障がい者雇用の理解を促すための、募集・雇用に関するワンポイント解説や、事例などをまとめた啓発ビラ・小冊子(PDF)を会員企業に作成・配布しました。

ビラ PDF : <https://www.zenkyukyo.or.jp/wp/wp-content/uploads/2025/06/bira.pdf>

冊子 PDF : <https://www.zenkyukyo.or.jp/wp/wp-content/uploads/2025/06/sho-sashi.pdf>

#### （2）障がい者求人広告の無料掲載

- ・会員社の求人情報誌・求人サイトに障がい者向け無料求人情報（広告）を掲載しました。
- ・求人企業や求職者向けに無料求人情報（広告）を掲載する会員社名をホームページ上で広報を行い、また各会員のサイトや求人情報（広告）ページへリンクを張り、応募反響の増加に努めました。

### 【キャンペーン結果】

掲載情報件数は、521件、応募・問い合わせは、662件、採用者数は、42名でした。

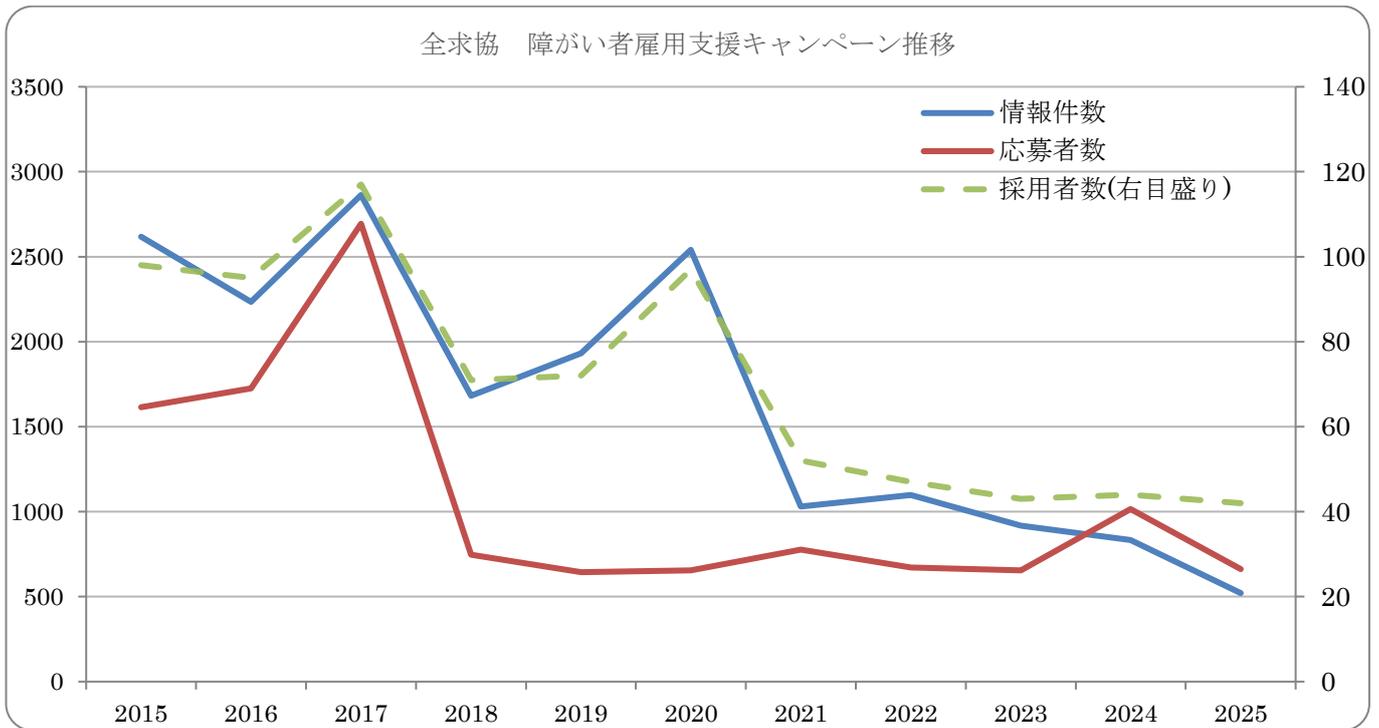
## 【参加会員】

全国求人情報協会 会員 52 社（キャンペーン時）

※会員社名は、ホームページ内、「情報公開」をご参照ください。

## 【成果】

2004 年から掲載した情報件数(累計)は 3 万 8939 件、応募者数(累計)は 2 万 4590 名、採用者数(累計)は 1507 名を数えます。



## 【企業・求職者（障がい者）・会員社からの声】

### <企業>

- ・難聴の方を採用。業務にはまったく差し支えない接客経験もあり、大変よい方を採用できた。
- ・今後も障害者の雇用は必要と考えているため来年も活用したい。
- ・応募者と相談して、面接時に見学・体験をしてもらうことになった。ご本人ができそうと思えるのであれば採用する予定。初めて障がい者を採用するが、よい機会となった。

### <求職者（障がい者）>

- ・何か自分に合った募集があれば紹介して欲しい
- ・障がい者向け求人は絶対数が少ないため、もっと求人を載せて欲しいと障がい者家族から要望あり

### <会員社>

助成金等を知らなかったクライアントもあり、今回の周知活動で少しですが認知が広がりました。

お問い合わせ先／公益社団法人全国求人情報協会 松倉健司 Tel：03-3288-0881 k-matsukura@zenkyukyo.or.jp

公益社団法人全国求人情報協会（理事長：瀬野尾 裕 略称：全求協）は、1985 年 2 月に設立。全国のフリーペーパー・折込求人紙・有料求人情報誌・求人サイトを運営・発行する 52 社(2025 年 12 月現在)の会員で構成されており、自主規制のための掲載基準作成、求人情報に関する苦情・相談業務や調査・研究などの活動を実施。